

設問1

日本において動物と人との関係性の変化について、正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	現代では「ペット」から「家畜」へと認識が変化している。
A2	動物は「ペット」から「家族」としての存在へと変化している。
A3	犬猫の飼育頭数は15歳未満人口より少ない。
A4	動物と人との関係性は社会の高齢化とは無関係である。
A5	動物との生活は人間の心身に影響を与えない。

正解 A2

日本では犬猫の飼育頭数が15歳未満人口を上回り、動物は「家族」、すなわち伴侶として認識されている。

設問2

One Medicineの理念に基づく考え方として、正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	人と動物の健康を完全に分けて考える。
A2	動物の健康は社会には寄与しないとする。
A3	人と動物の健康を一体的に捉える。
A4	人医療は動物の理学療法には応用できない。
A5	動物と人の生活は無関係である。

正解 A3

One Medicineは、人と動物の健康を分けて考えず、一体的に捉える理念である。

設問3

動物に対する理学療法の社会的意義として、正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	動物自身にのみ効果がある。
A2	人間社会の幸福度向上には寄与しない。
A3	飼い主の健康や社会福祉に寄与し得る。
A4	動物と人の双方に悪影響を及ぼす。
A5	社会課題の解決とは無関係である。

正解 A3

動物に対する理学療法は動物自身にとどまらず、飼い主の健康や社会全体の幸福度向上にも寄与する。

設問4

日本の獣医療制度に関して、正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	獣医師は厚生労働省の所管である。
A2	愛玩動物看護師は獣医師の監督なしに診断を行える。
A3	獣医師は診断と治療の責任を担っている。
A4	理学療法士は農林水産省の管轄にある。
A5	愛玩動物看護師は民間資格であり国家資格ではない。

正解 A3

獣医師は農林水産省の管轄であり、診断と治療の責任を担う国家資格である。

設問5

日本で理学療法士が獣医療に参画する際の課題として、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	法的制約の存在。
A2	獣医療従事者における理学療法士の認知度不足。
A3	動物に対する体系的な教育機会の不足。
A4	動物病院での雇用環境の未整備。
A5	日本ではすでに国家資格として理学療法士の参画が制度化されている点。

正解 A5

日本において理学療法士の獣医療参画は制度化されておらず、法的制約や教育・雇用環境の整備不足が課題となっている。